

核兵器禁止・廃絶条約の交渉開始と締結を



岡山県原水協通信

2017年 5月 1日 No401
 原水爆禁止岡山県協議会
 700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
 TEL086-244-4526/F0805-6172
 kenmin@po5.oninet.ne.jp

廃絶への扉を開く核兵器禁止条約実現へ

歴史的状況にふさわしい運動を確認 日本原水協常任理事会開く

日本原水協は4月26—27日第319回常任理事会を開催し、国連で始まった核兵器禁止条約交渉会議第1期会議を受け、歴史的状況を迎えた核兵器禁止条約制定に向けた運動、その中で迎える60回目の平和行進の成功と、国連第2期会議後に開催される2017年原水爆禁止世界大会の重要性を確認し歴史的情勢にふさわしい世界大会にする取り組みの意思統一をおこないました。

会議には13中央団体・43都道府県から75人が出席。国連では核保有国とその同盟国が守勢に回る局面を作り出していること、それをつくりだした私たちの運動に確信を持ち、全国で「ヒバクシャ国際署名」の運動をさらに広げ核兵器廃絶の扉を開く、禁止条約の実現に向けて奮闘することを確認しました。



赤磐

足王神社大祭で署名行動

4月29日、赤磐原水協と赤磐平和委員会は恒例の足王神社大祭署名行動にとりくみました。足の具合が悪い人が県内外からお参りし、賑わう大祭で赤磐原水協は毎年の恒例行事として取り組んでいます。この日は8人が参加。参拝する皆さんに呼びかけおよそ1時間で113筆の署名が寄せられました。「お疲れ様です。去年もやりましたね」と署名に応じる人もありました。



すっかり地域になじみになった赤磐原水協の足王神社大祭署名行動です。(写真・上、左)

9条あるのにどうして戦争を と中学生



4月22日、水島原水協とPPO (peace piece okayama) は共同して倉敷駅前ヒバクシャ国際署名に取り組みました。10人が参加し、1時間で24筆の署名とチラシ付きティッシュ150個を配布。「憲法9条があるから戦争はしないと習ったのにどうして戦争するのですか」と尋ねる中学生も署名してくれました。(写真はPPOのみなさん)

大仙院前で署名行動・笠岡
 市民ぐるみの運動をしている笠岡市の「署名をすすめる市民の会」は4月20日、縁日でにぎわう大仙院前でヒバクシャ国際署名に取り組みました。「核兵器をなくすのは当たり前じゃ」と快く署名してくる人もあり、1時間で72筆が集まりました。この行動には原田会長ら6名が参加しました。(写真・大仙院門前で署名に取り組み原田会長ら)

